

ホームホスピスの調査研究報告

- ・ホームホスピスの実態調査結果
- ・ホームホスピス立ち上げに関する講座資料
- ・ファンドレイジングに関する調査報告

全国ホームホスピス協会

事務局

2024年3月1日

1. ホームホスピスの実態調査結果

スタッフ雇用・育成のための仕組みづくりのための参考データとして、ホームホスピスの実態調査を実施した。

その結果は、第12回全国大会に合わせて実施した運営者会議でも共有し、追加の意見を求めた。

ホームホスピスの運営上大きな課題は、①収益が低い ②人手不足 ③入居率（入居者の確保）であった。

①「収益が低い」課題に関しては、介護以外の事業で赤字を補っているところが多く、ホームホスピスの利用料を上げづらいと思っているところも目立った。利用料に関しては15万円/月～30万円/月と幅があり、地域性も大きく関わっている。

定期的な経営戦略会議を開いて経営改善についての意見交換、情報共有を行っているところもあった。また、寄付受け入れの強化、クラウドファンディングの利用を行っているホームホスピスもあった。

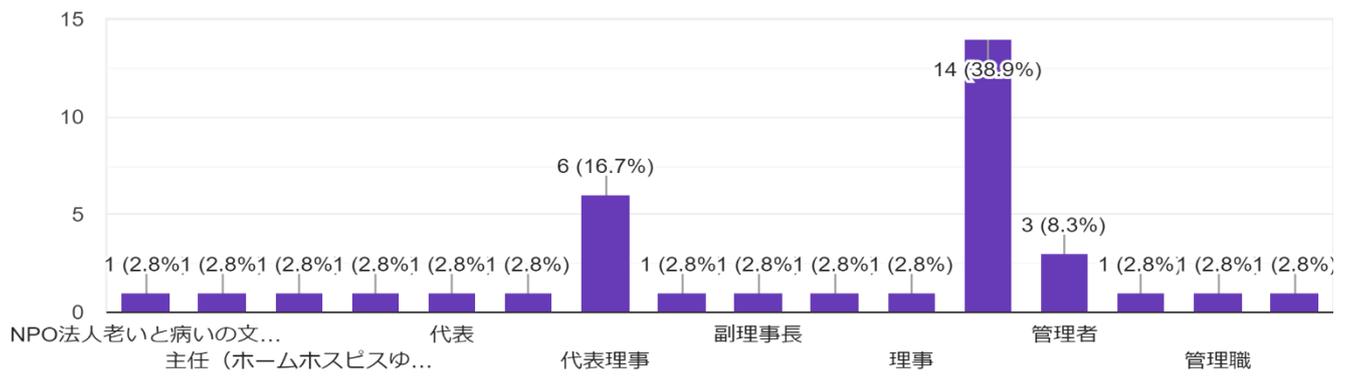
②「人手不足」に関しては、夜勤要員の不足が最も大きな題として明らかになった。求人への工夫をしているところも多く、以前働いていたスタッフへの再要請、看護学生（准看護師）へのアプローチ、ナースセンターへの登録、家の前に求人のポスターを掲示、ホームページ・SNSの充実などの回答があった。

③「入居率（入居者の確保）」については、ホームホスピス認知度向上のための講演会、SNSの活用、町会報への広告掲載、医療生協とのつながりを作る、ケアマネージャーとの良好な関係づくり、見学会の実施などの工夫が見られた。

次ページ以降にアンケート結果を掲載する。

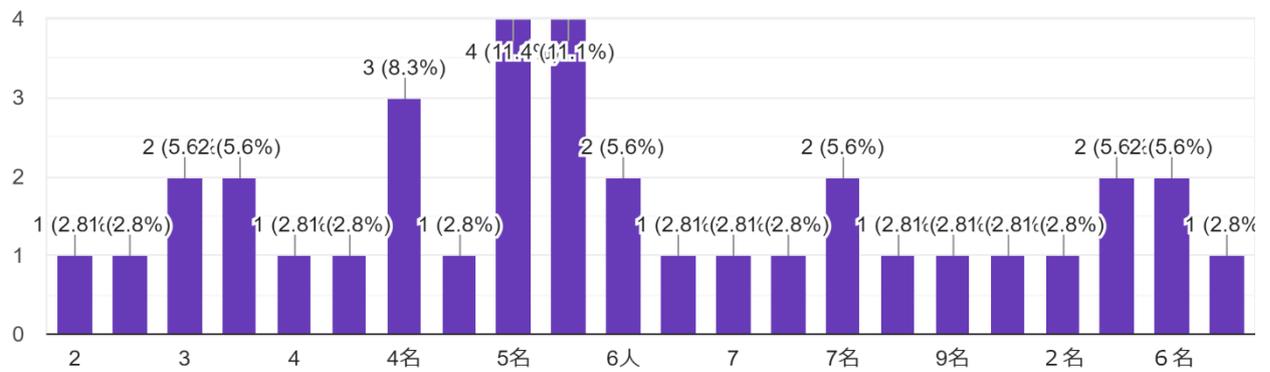
記入者役職（所属）

36件の回答



1-① 2023年10月末現在の入居者数

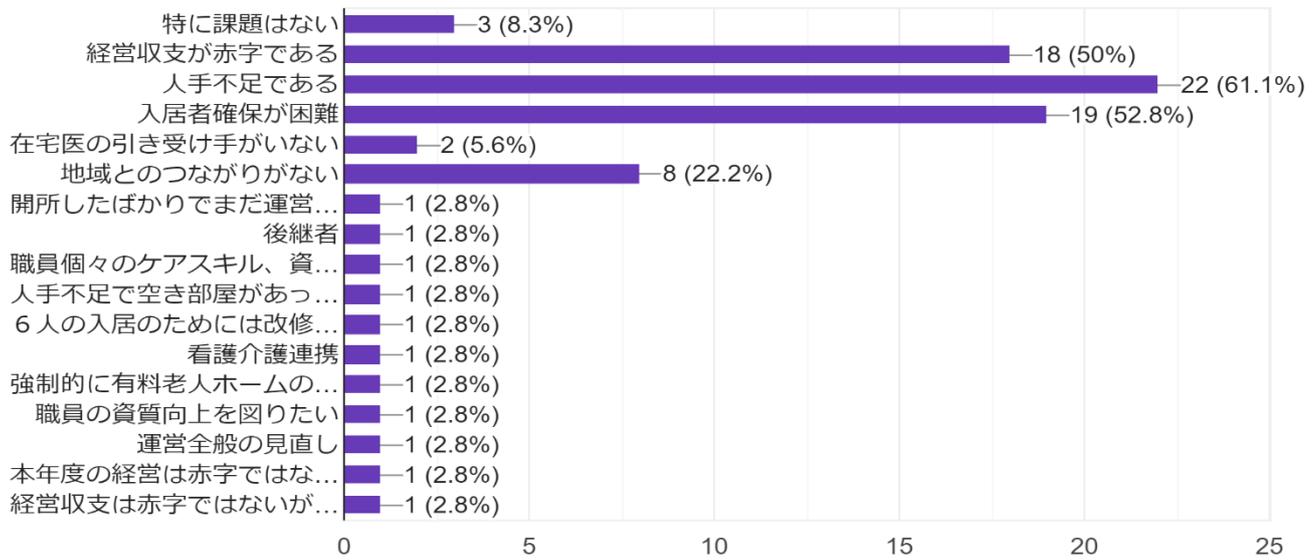
36件の回答



2. ホームホスピスの運営について 2-①

現在の運営上の課題は何でしょうか。課題がある...先度が高い3つを選んでチェックしてください。

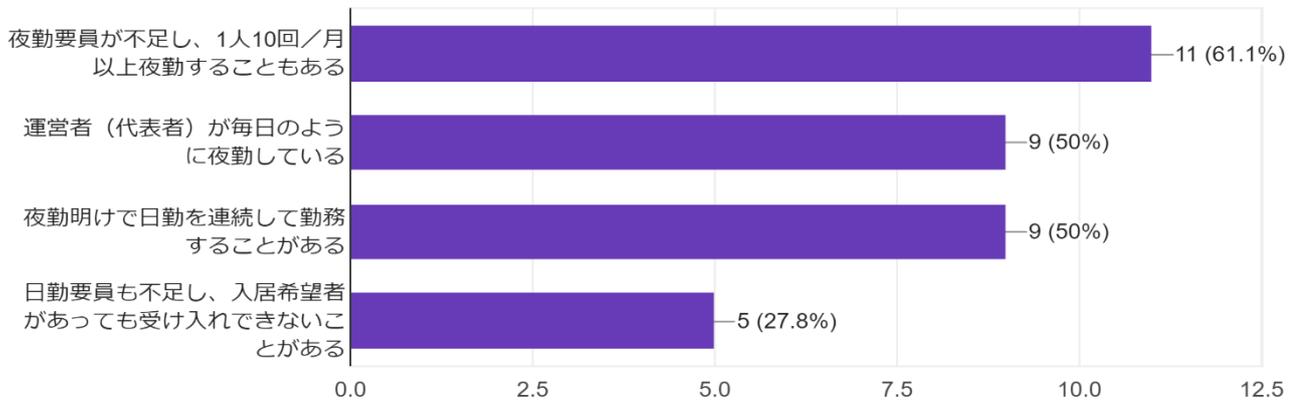
36件の回答



2-③

①の質問で「人手不足」と回答された方にお尋ねし...。該当する項目にチェックをつけてください。

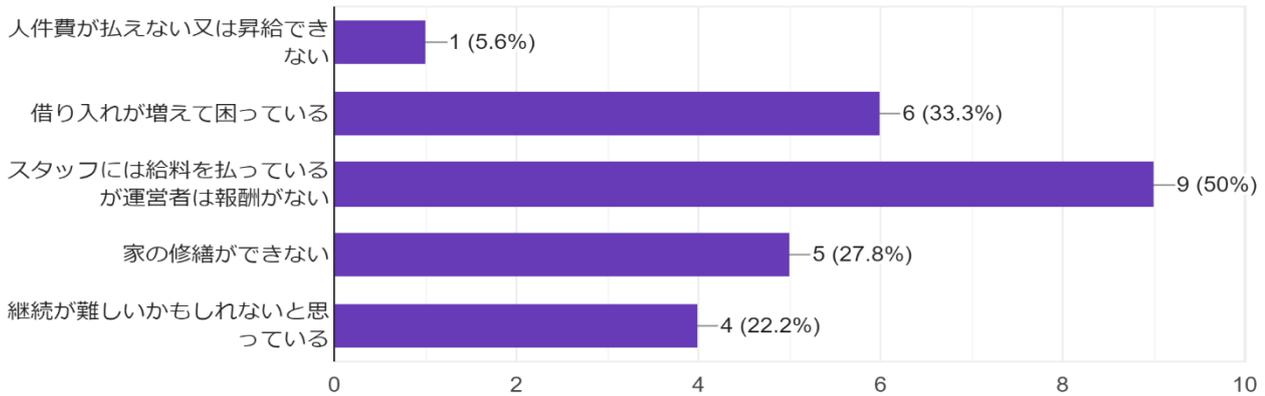
18件の回答



2-②

①の質問で「経営収支が赤字」と回答された方に...す。該当する項目にチェックを付けてください。

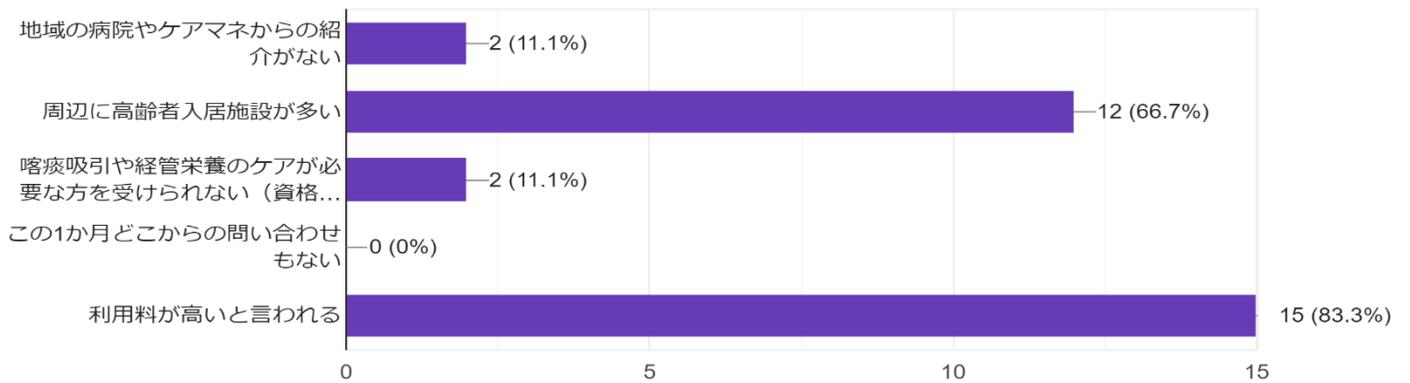
18件の回答



2-④ ①の質問で

「入居者確保が困難」と回答された方にお尋ねします。該当する項目にチェックをつけてください。

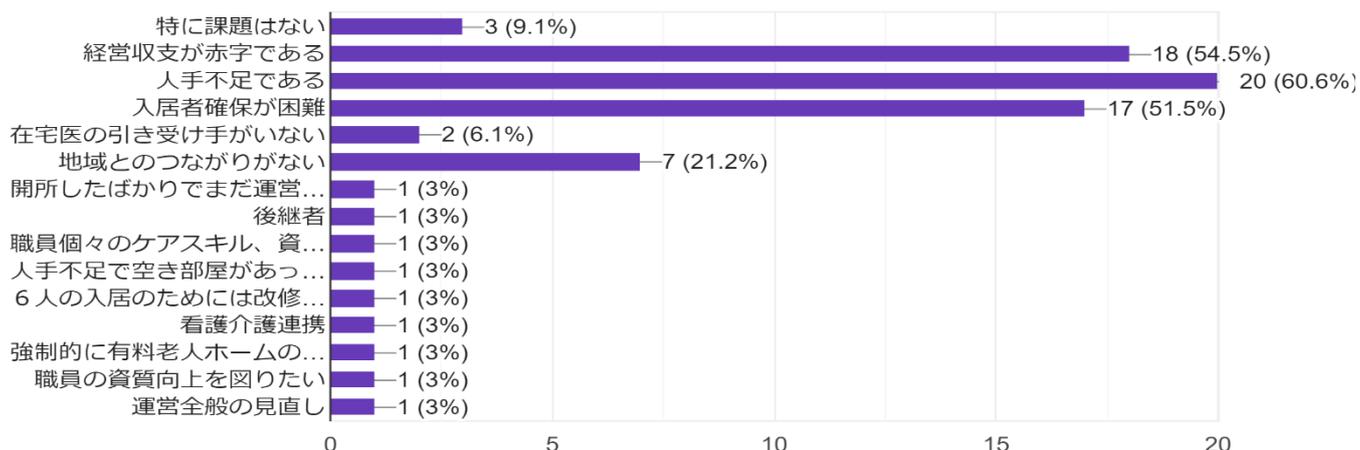
18件の回答



2. ホームホスピスの運営について 2-①

現在の運営上の課題は何でしょうか。課題がある...先度が高い3つを選んでチェックしてください。

33件の回答



「利用料が高い」と回答された方にお尋ねします。1ヶ月のおおよその利用料について教えてください（介護保険の自己負担分は除く）。

【15件の回答】

16万円

14万8千円

23万円

29万5千円～32万円

200,000円

145000

127000円

17万円前後

15万程度

15万4千円（*利用料自体というより医療・介護保険料等合算して高いと感じられています。）

19万～22万円

12.5～14.2万円

15～20万円

190000円+消費税（6500円）

平均35万円

2-⑤ ①の質問で何らかの課題があると回答された方にお尋ねします。それらの課題解消のために取り組んでいることがあればお聞かせください。

【20件の回答】

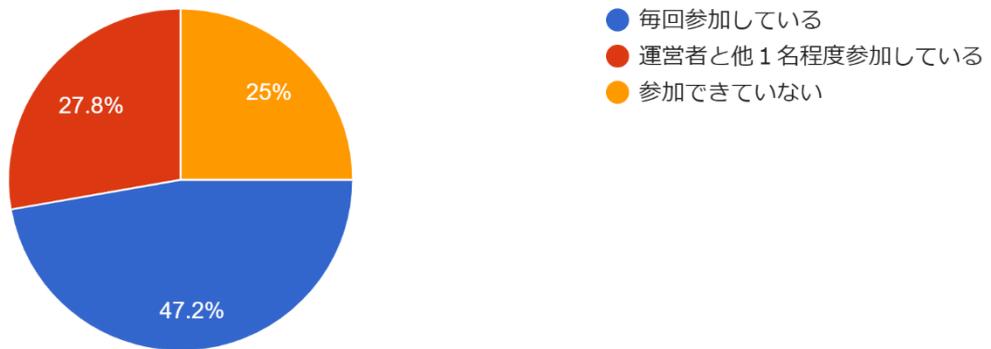
- ・エンゲージ求人にお金を出している。6名の定員数を7名にした。
- ・入居者の介護度、医療の必要度と職員の対応スキルのバランスを考慮しながら、資格取得を声かけしている
- ・医療機関との連携（院内の地域連携室と常に連絡を取り合っています。）

- ・地域活動を通して、住民への啓発、ホームホスピス運動の紹介、医療・介護のネットワーク構築を図る。
- ・地域の行事に参加
- ・ワークショップに地域包括やケアマネ・訪問看護師さんを講師としてお願いしている。
- ・広報 求人
- ・経営収支については、介護以外の事業で赤字を補っています。利用料を上げることも検討しましたが、上げることで入居者確保が困難になることを考えると上げることができないのが現状です。経営収支が赤字の為に待遇の改善ができず、職員確保も困難です。これらの課題解消のための取組を考えていますが、なかなか実行に移せていないのが現状です。
- ・ホームページや SNS の充実。地域活動。医療機関への営業活動
- ・地域活動として、相談支援の開始を検討している
- ・経営収支が赤字である ホームホスピスの空き、訪問介護事業自体の経営状況、時給の高騰等で全体的に経営がひっ迫しています。去年3人同月に看取りがあってから満室になるまで半年以上かかったため赤字状態でした。現在満室ですが、以前は入居待機者は設けず、入居希望リストを控え、入居の空きが出てから、周知して、入居判定委員会と後手後手の対応だったので、具体的な入居希望があった場合、入居判定を行い、空きが出てからスムーズに入居の循環になるようにと仕組みを変えようとしています。あと法人としては、経営戦略会議を年に数回行っております。ベースアップ等加算など事務局で随時取得していますが、時給が年々上がっていることに対する経営改善は厳しい状況かと思えます。
- ・人手不足である 数年前から慢性的な人手不足でしたが、ここ2,3カ月の中で、スタッフの怪我による休職、家庭の事情等に退職が重なり、悪循環の形で人手不足の現状です。現在、以前働いていたスタッフに助っ人的に声をかけています。もう一つの人手不足の要因として、スタッフの世代が変わり、子育て世代や、勤務意識や休みのとり方が変わり、土日祝日等集中的に人手不足の日が発生しやすくなっているため、ローテーションで分担して配置できないかなど模索中です。あと、近くに看護学校があり、実習の受け入れ等よい関係が築けているので、看護学生を対象とした求人も考えられないか検討しています。
- ・入居者確保が困難である 一つは↑で挙げた入居サイクルの改善と、町会報が2000世帯ほど配っており、去年広告を出し1件反応ありました。あと医療生協とのつながりがあり、組合員向けにホームホスピスや愛逢の家のことを紹介する機会をつくろうと事務局長と進めている所です。
- ・広報、営業の工夫、今後寄付の呼びかけを頑張っていきたい
- ・看護介護の話し合いを続けている
- ・ホームホスピスの認知度向上のための講演、SNSの活用(インスタ開設)、求人内容の改善
- ・求人の工夫(職安、県社協主催の給食説明会参加、ナースセンター) 広報の工夫(ホームページ、会報やパンフレットは、外部会議等参加時にも手持ち資料として持参) 地域活動(自治会へのミニ講座、包括支援センターやまちづくり協議会との連携、暮らしの保健室に地域住民の参加呼びかけ) 寄付(クラウドファンディング、継続寄付キャンペーン)
- ・かんさの結果が出れば対処しようと思う
- ・求人の工夫(ハローワーク・ホーム前に求人広告) 広報(空き情報のファックス・電話、食事付きの見学会、プレスリリースの作成)
- ・地域活動には積極的に参加しているが、別の地域によっては活動が余りなく、参加が不十分な思いがある。もう一步地域に踏み出すべきかと悩むことがある。往診医がなかなか見つからず、苦慮しているが、こまめな挨拶回りや、地域での勉強家会への参加で、顔の見える関係作りを開始しました。
- ・求人募集強化、運営の見直し
- ・求人や広報の工夫 寄付の呼びかけ

- ・ケアマネージャー様との良好な関係作り

3. ホームホスピス全国大会について 3-① 年 1 回開催される全国大会には参加されていますか？

36 件の回答

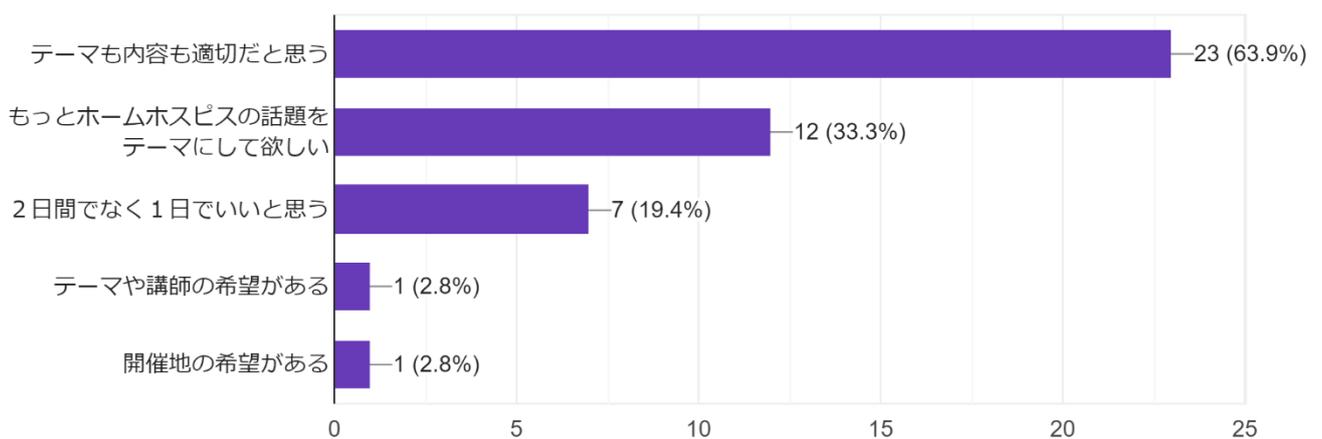


上記の質問で「参加できていない」方はその理由をお書きください。8 件の回答

- ・勤務調整が難しい。
- ・コロナ感染症罹患する不安があるため。
- ・日程があわず参加できていない時がある
- ・人手不足（夜勤者がいない）
- ・Web 参加のみ。実際に参加できていない。人員不足で休めない。
- ・できる限り参加予定であるが、月初は請求業務があり困難
- ・勤務で休みが取れない状況
- ・人手不足、別の予定がすでに入っている

3-② 全国大会のテーマと内容について 該当する項目にチェックを付けてください。

36 件の回答



3-③ 上記の質問で「テーマや講師の希望がある」「開催地の希望がある」と回答された方は、具体的なご希望があればお書きください。2 件の回答

坂野さん 駒場苑 石津道弘さん 神戸で
ホームホスピスが地域の行政に認められる方法

旅行も兼ねていけるよう各地で開催してほしい

4. ホームホスピス実践者育成塾について4-①年1回開催される育成塾に参加されていますか？

36件の回答



上記の質問で「以前は参加していたが今は参加していない」「参加していない」方はその理由をお書きください。13件の回答

- ・事業を開始したばかりでまだ人員や予算の関係で参加が出来て居ません。
- ・コロナ感染症罹患の不安があるため。
- ・日程調整が難しく参加できていない
- ・人員に余裕がなく、まとまった参加日の確保ができない
- ・人手不足
- ・参加する人がいない
- ・希望者がなく推薦しても本人に拒否される。
- ・人員不足のため
- ・人出に余裕がない
- ・勤務状況でできていない
- ・毎回参加している全国大会でとても有意義に過ごさせていただいているため。また時間がないため。
- ・時間的な余裕がない
- ・参加しないまま、ホームホスピスを開始したため。

4-② 育成塾に希望するテーマ・内容がありましたらお書きください。【5件の回答】

- ・新人職員が押さえるべき内容
- ・ホームホスピスの理念の具体化
- ・一度、何かのホームホスピスの会で話された飯田大輔さんの介護の生理学やケアの思考過程等のお話を聞いて見たいです。あと、食支援の内容で、同じ地域で活動されている川端恵里さんという方がいまして、言語聴覚士ですが、調理も含めた食支援で最近フリーになられて活躍されています。実際、講義も調理実習も参加したことがあるので楽しく、有益に学ぶことができます。紹介もできますが、この方でなくてもよいのですが、食支援の内容みたいなものもあってよいかと思いました。 <https://eatcare-create.com/>
- ・他のホームホスピスの生活ぶりの紹介等

- ・労働安全の為のノーリフティングの取り組み

5 全国ホームホスピス協会について

協会についてご要望等があればお書きください。

【22 件の回答】

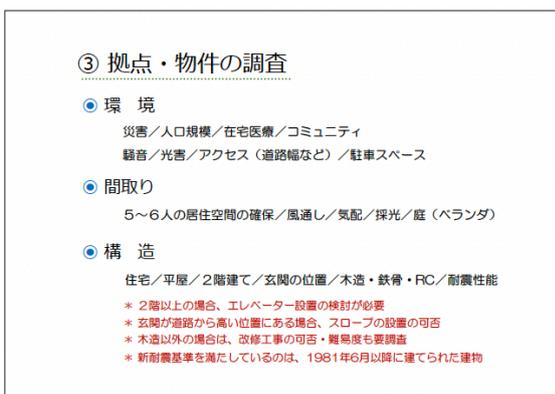
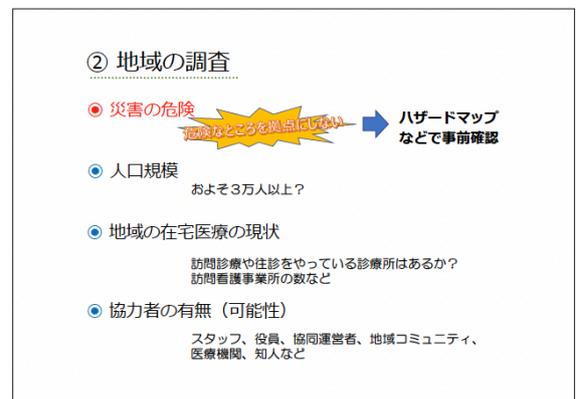
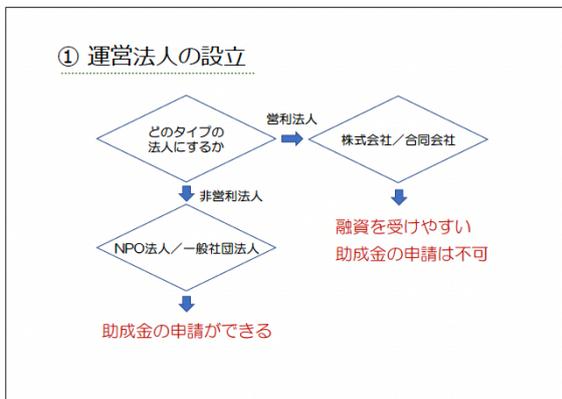
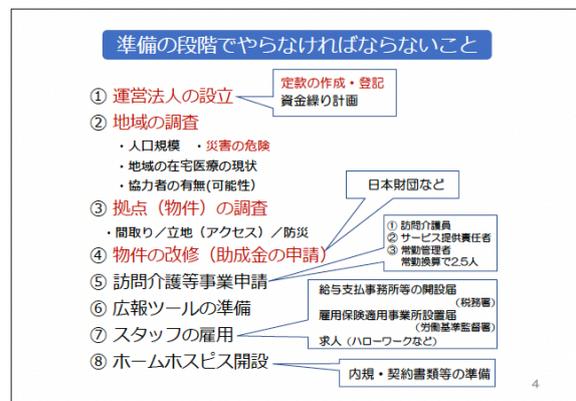
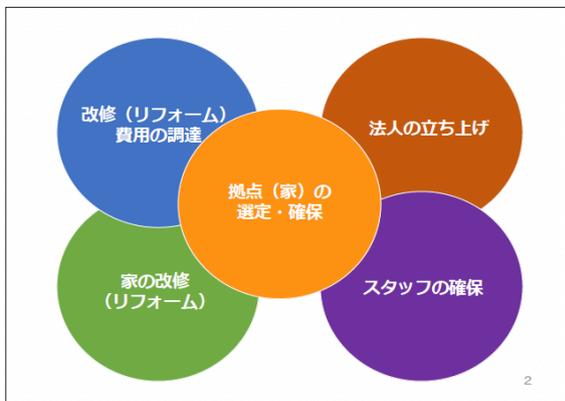
- ・運営相談
- ・いつでも相談できる体制であり、必要に応じて対応して頂きありがとうございます。まだ始まったばかりでこれと言った要望はありません。
- ・各地のホームホスピスの人たちと、直接交流、情報交換できる時間があればと思う。
- ・ホームホスピスも地域のホスピス運動の一つと感じています。その地域に合わせた実践でしか根付かないように思いますが、いばらの道であることは確かです。ホームホスピスが施設運営のみに埋没していかないように、運営者たちがエンパワメントしていくサポートをお願いしたいと思います。今後介護保険が縮小していく中で、柔軟かつ多様であり、選択に資する価値を創造していければと思いますが・・・時々心が折れます。
- ・助成金・補助金情報
- ・会費の減額【当方所在地の法人税と同じ額です!!!】
- ・助成金や補助金の情報等があれば、是非お教えいただきたいです。
- ・運営相談 助成金補助金情報
- ・ホームホスピスの運営・経営から見えてくる日本財団への助成支援の強化。
- ・変形型ホームホスピスであるが、継続できることを望んでいます。
- ・制度について
- ・いつも良くして頂いてありがとうございます。
- ・運営相談 助成金・補助金情報
- ・要望がないくらい、いつも対応してもらいありがとうございます。運営相談や助成金情報など学んだりアドバイスもらったことを実際、取り組む余裕がないのが課題です。要望になるか分かりませんが、ホームホスピスの協会ができて、初期の頃は各ホームホスピスもある程度顔の見える関係だったと思いますが、ホームホスピスの数が増え、代表者も含めて正直分からなくなっている部分があり、ホームホスピスのマップとは別に、各ホームホスピスの簡易な概要一覧と、家の外観と代表者の顔位は分かる状態になると嬉しいかもしれません。
- ・2-②の質問で、今までは余剰金で何とかやっているのですが、いずれも該当はしないが、今後借入れが必要になるかもしれないと思っている。寄付をしてもらえるようにチャリティーコンサートなどの検討もしています。
- ・助成金、補助金情報助かります。このアンケート選択肢が限定されていて回答しづらい項目があります。3-②は思いに近いものはありませんでした。なので、無難な答えにしています。
- ・地域との関わり方、スタッフの育て方について学びたい。
- ・ホームホスピスで働くスタッフだけでなく、ホームホスピス運営団体がしている他事業で働くスタッフも参加したくなるような企画をしてほしい
- ・地域行政にホームホスピス単独での対応だけではなく組織として認められる様にできないものでしょうか(地域によっては有料老人ホームとしてしか認められない)
- ・他のホームホスピスの地域活動の情報
- ・現状も大切ですが、世の中のこれからの変化予想やそれに係る必要な取り組みがあれば、発信や研修情報として欲しい。

2. ホームホスピス立ち上げに関する講座資料

ホームホスピス立ち上げに関する資料として、ホームホスピスの学校に追加講座として「つくる準備コース」にホームホスピス立ち上げに関する講座を追加した。これは、立ち上げのマニュアルとしても今後編集し活用していく予定である。

内容としては、①法人立ち上げ ②地域の調査 ③拠点（物件の調査） ④物件の改修 ⑤介護事業等の申請 ⑥広報ツール ⑦スタッフ雇用などについて掲載している。

以下、内容の一部抜粋



3. ファンドレイジングに関する調査報告

2024年2月21日～3月31日に開催されたファンドレイジングの国内最大の大会「Frj2024」に参加し、情報を収集した。



3月9日に開催された対面イベントにも参加し、下記のセッションに参加した。

① オープニングセッション

「ファンドレイジングは新時代にいけるか～新しい資本主義の時代への挑戦」

② 皆で考えるファンドレイザーのキャリア

ファンドレイザーとして社会で活躍すること、情報収集のノウハウなどを学んだ。

③ クラウドファンディングの成功を組織の成長へ～組織の自立発展に向けた戦略シナジーの作り方

クラウドファンディングによって、組織の基盤づくりをする方法などについて学んだ。

④ 認定NPO法人DXP（ディーピー）のファンドレイジング

⑤ ファンドレイジング最前線～この1年で最も注目されたファンドレイジングから実践のポイントを学ぶ

⑤ NPO×企業が生み出す課題解決の力

⑥ 「資金調達のプロ」としてのファンドレイザー～越境キャリアの可能性をしくじりとともに考える（認定ファンドレイザー限定セッション）

ファンドレイジングの失敗例などを共有し、効率の良いファンドレイジングのやり方などについて学んだ。

また、協賛ブースで以下の企業、団体を訪問し、最新情報の収集を行なった。

- NPO サポートセンター
事務処理の効率化のためのシステムについて情報収集した。
- コングラント株式会社
マンスリーサポートシステムについて情報収集した。
- Syncable
クラウドファンディング、マンスリーサポートシステムについて情報収集した。
- 全国レガシーギフト協会
遺贈寄付の受け方、教会への加入に関して情報収集した。
- (公財) 日本非営利組織評価センター
グッドガバナンス認証の更なる活用（寄付募集など）について意見交換した。
- READYFOR 株式会社
マンスリーサポートシステムおよび企業協賛の方法について情報収集した。
- 全国こども食堂支援センターむすびえ
中間支援組織が基金を設立する方法について情報収集を行なった。

以上